

カレッジ通信

発行
東京建築
カレッジ授業見学
大歓迎！Tel
03-
5950-1771

第21期生（2年生）「奈良宿泊研修」11月16～18日

木造建築の聖地で刺激を受けた！

修復2件、復元1件、改修2件の現場学習



木造建築の技と知恵を継承・発展させるのが本校の使命であり、世界最古、世界最大級など木造建築物の宝庫である奈良は私たちににとって聖地といっても過言ではありません。11月16～18日、第21期生、2年生の奈良宿泊研修が行なわれました。奈良県文化財保存事務所や寺社建築専門の建設会社などの協力で、一般の観光では見ることでできない古建築の保存・改修の工事現場を見学しました。木造の伝統を現代にどう生かすのか、その可能性をどう考えるのか、一人ひとりに問う学習プログラムです。

昨年にも続き今回も、修復・復元合わせて工事現場を3つも見学させていただきました。奈良県文化財保存事務所の唐招提寺、出張所の皆様、薬師寺出張所の皆様、瀧川寺社建築興福

技能五輪全国大会は、厚生労働省と中央職業能力開発協会が主催し、満年齢23歳以下の日本国籍を有する者が出場、さまざまな技能を身につけた若者たちが集い、技の日本一を競う競技大会です。本校は「建築大工」職種で参加してきました。

11月25、26日に競技が行なわれた第55回大会 建築大工職種で、昨年に続いて2回目出場の第20期生・高野成己さんが銀賞を受賞。初出場の第21期生・高田慎太郎さんが健闘しました。建築大工職種の出場選手数は95人でした。裏面に関係記事（写真＝左から小林謙二学校長、高野さん、高田さん、片岡茂樹指導員）

技能五輪 銀賞に輝く 20期・高野成己さん



寺「中金堂」復元工事現場事務所の皆様、本校の教育実践へのご協力、本当にありがとうございます。薬師寺では解体修復が進む東塔を間近に、唐招提寺では迫力あふれる御影堂の「曳き家」の現場を確認することができました。いずれも一生に一度しか見ることできない現場です。

また、歴史的な町並が守られ、自治の精神が現代も継承されている橿原市今井町では、町家のリノベーション事例を2つ学ぶことができました。橿原市教育委員会 今井町並保存事務所の皆様、

今期最後の入学選考は2月7日！

授業＆学校見学は お気軽に！

第4回募集日程	
学校説明会	1月24日（水）午後2時・午後7時
応募締切	2月 1日（木）
試験日	2月 7日（水）午前10時～
結果発表	2月 9日（金）

募集要項は、東京建築カレッジのウェブサイトに掲出。年末年始除き毎週金曜・土曜に授業。見学歓迎します。

お問い合わせ・資料請求は下記まで

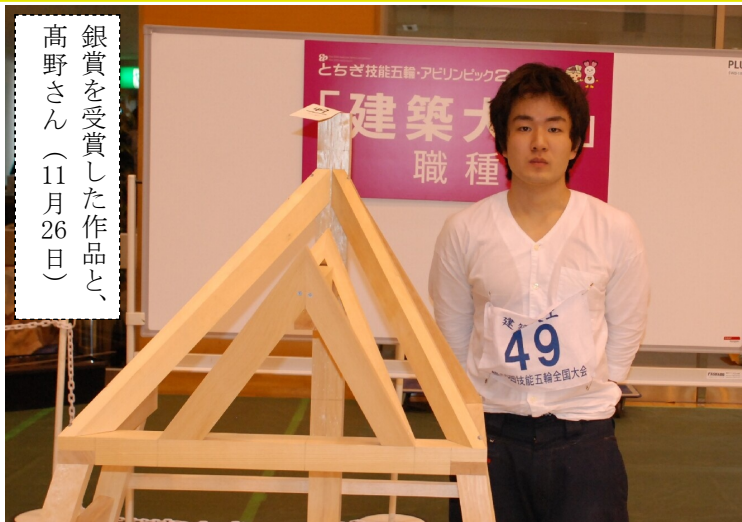
東京建築カレッジ 事務局 03・5950・1771

〔東京土建技術研修センター内〕月～金、9時～18時



上写真：町家をリノベーションした放課後児童クラブを視察（橿原市今井町）
左写真：世界最大級の木造建築、東大寺大仏殿の前で

ありがとうございました。今井町では、この町に引越して来たばかりのお施主さんご自身から、なぜこの町で暮らそうと思ったのか、設計施工上のこだわりと困難性についてレクチャーしていただく機会もありました。住まい選びには、暮らす人の生き方が投影することを学びました。住宅リフォームに関わることの多い建築カレッジ生は全員が集中して聞き入っていました。



後続く人には、ぜひ金賞を。

技能五輪全国大会 銀賞 高野 成己さん

昨年の山形大会ではベストは尽くせたものの22位に終わりました。全国レベルの厳しさを初めて実感しました。

今年は金賞を取るという決意で練習してきました。先生方、先輩方の期待に応えなければと必死でした。深夜まで練習が続くこともあり何度も先生方に迷惑をかけてしまいました。おかげで練習最後の

一台は会心の作となりました。

本番では正直、満足できるものを作れませんでした。なんとか時間内に組み上げ、銀賞をいただくことができました。多くの方々の支援でここまで来ることができました。本当にありがとうございました。後続く人にはぜひ金賞を目指して頑張ってもらいたいです。

正念場の実習棟実習

継手・仕口の基本的な加工法を習得した後に、手刻みを基本に、2階建ての木造住宅一棟をまるごと建てる実習棟実習が本格化しています。2階は「在来構法」、

1階は「伝統構法」の実習棟は全国的にも大変珍しいものです。土台班、柱班、二階梁班、丸太班、小屋組み班に分かれ、チームワークで作業を進めます。作業開始前の班長会議では進捗状況をチェックしています。



(左写真) 図面の意図を読み取り、材料に正確に墨付けしていきます。墨付けを誤ると、正確な刻みができません。その修正に手間取ると工程にも響くので責任重大です。

現場で役立つ設備の授業



最新版の教科書が人気です

建築カレッジで学ぶのは、伝統的な大工技術だけではなく、

現代の住宅の新築・リフォームでは最新の設備機器の知識を身に付け、設置や移設のノウハウもある

2年生の授業から

程度つかんでおく必要があります。このため、2年生のカリキュラムで11月から「建築設備演習」(全10回)を開講しています。講義は一級建築士の佐藤里志講師が担当。『建築設備パーフェクトマニュアル』(エクストナレッジ)の最新版を教科書に、現場事例を豊富に解説していきます。

建築カレッジ☆12月の予定

◇ミニ公開講座「エアコンを使わずに快適に暮らす住まいづくり」第5回「寺の軒はなぜ深い」

(参加無料、金田正夫 講師)

「高気密・高断熱=省エネ住宅」キャンペーンへの批判的検証の狙いもあります。お試し参加も大歓迎。

お気軽にご参加ください。12月8日(土)午後6時半

開場・午後7時開会、池袋校舎

◇2年生 卒制中間発表

卒業制作は建築カレッジの2年間の学びの集大成です。

そして唯一の自由課題です。最終発表会は2月18日(日)

ですが、12月23日(土)の中間発表会も公開します

[午後2時50分から池袋校舎]。

見学ご希望の方はご連絡ください。

授業は毎週金・土。見学随時OK。要予約